

令和5年第3回定例会9月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会します。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

発 言 順 位

9月12日(火)

(1)	国出	拓志	議員	(公明党)	……………P2
(2)	黒田	智子	〃	(市民の会)	……………P4
(3)	寺井	吉広	〃	(明石かがやきネット)	……………P6
(4)	正木	克幸	〃	(明石維新の会)	……………P7
(5)	千住	啓介	〃	(自由民主党明石)	……………P8
(6)	長尾	博子	〃	(公明党)	……………P10
(7)	山下	祥	〃	(市民の会)	……………P11
(8)	宮坂	祐太	〃	(明石かがやきネット)	……………P12
(9)	上田	雅彦	〃	(明石維新の会)	……………P14

9月13日(水)

(10)	石井	宏法	議員	(自由民主党明石)	……………P16
(11)	飯田	伸子	〃	(公明党)	……………P17
(12)	中川	夏望	〃	(市民の会)	……………P18
(13)	林	丸美	〃	(明石かがやきネット)	……………P21
(14)	高尾	秀彰	〃	(明石維新の会)	……………P23
(15)	辰巳	浩司	〃	(自由民主党明石)	……………P24
(16)	河村	和歌子	〃	(公明党)	……………P25
(17)	山中	裕司	〃	(市民の会)	……………P26
(18)	竹内	きよ子	〃	(明石かがやきネット)	……………P27

9月14日(木)

(19)	中村	茂雄	議員	(明石維新の会)	……………P29
(20)	榎本	和夫	〃	(自由民主党明石)	……………P31
(21)	金尾	良信	〃	(市民の会)	……………P32
(22)	出雲	有希子	〃	(自由民主党明石)	……………P34
(23)	井藤	圭順	〃	(自由民主党明石)	……………P35
(24)	三好	宏	〃	(自由民主党明石)	……………P36
(25)	辻本	達也	〃	(日本共産党)	……………P38
(26)	中西	礼皇	〃	(対話の会あかし)	……………P39
(27)	家根谷	敦子	〃	(スマイル会)	……………P40

※順位については予定です。

令和5年第3回定例会9月議会発言通告一覧表

発言順位	1	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項		<p>1 令和4年度明石市一般会計決算について</p> <p>(1) 実質単年度収支が3年ぶりに7億2千万円の赤字となったことについて (要旨) 昨年度の赤字の原因について、その詳細を問います。また、令和5年度当初予算では大きな基金取崩しを見込んでいますが、今後の財政運営の見通しを問います。</p> <p>(2) 財政力指数について (要旨) 他の類似団体の令和3年度平均の0.78と比較しても、さらに悪化している状況です。市の認識を問います。</p> <p>(3) 経常収支比率について (要旨) 県下各市平均や類似団体平均よりも悪化しています。市の認識を問います。</p> <p>(4) 臨時財政対策債について (要旨) 後年度に地方交付税で措置されるとはいえ、臨時財政対策債の債務を返済するのは、あくまで借金をしている当事者の市です。その認識を問います。</p> <p>(5) 水道事業について (要旨) 老朽化したインフラ整備等もあり、外部監査等の当初予想では令和7年に赤字の見込みがあります。市の認識を問います。</p>	
		<p>2 バッテリーの回収について</p> <p>(1) モバイルバッテリー、電動自転車のバッテリー、ボタン電池の回収について (要旨) 通常では回収が困難なバッテリーに対して、回収する仕組みを構築すべきと考えます。市の見解を問います。</p>	
		<p>3 住民税非課税世帯へのエアコン購入費用の給付・貸与について</p> <p>(1) 住民税非課税世帯へのエアコン購入費用の給付・貸与をしないか。 (要旨) 住民税非課税世帯の皆様にも市として、緊急の際にエアコン購入費用(修理費含む)を全額給付、半額給付、無利子の全額貸与等により、助けていくことはできないでしょうか。</p>	

発言順位	1	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p>4 農業施策について</p> <p>(1) 野々池貯水池の関係営農者への説明責任と相互協議の在り方について (要旨) 野々池貯水池を利用している営農者への対応について、市の認識を問います。</p> <p>(2) 林崎掘割について (要旨) 林崎掘割から野々池貯水池に水を引いていることから、この掘割を利用する代わりに、その利用料として年間700万円を水利組合に支払っていましたが、この度、野々池貯水池の廃止に伴い、その必要性がなくなったということで、この補助が打ち切られることとなりました。営農者への影響と対策について問います。</p> <p>(3) 今後の野々池貯水池の在り方について (要旨) 野々池貯水池跡地に何らかの利益を生むような利活用ができるのであれば、周辺の営農者に対しても還元できる可能性があり、さらには、新たな水の確保が見えてくれば、営農を続けていける可能性も十分考えられます。市の認識を問います。</p>		

発言順位	2	議員名	黒田 智子(市民の会)
発言事項	1 重層的支援体制整備事業について		
	<p>(1) 「福祉まるごと相談窓口」の課題について (要旨) 2018年より地域総合支援センターを設置し、「福祉まるごと相談窓口」として相談支援を行ってきた中で見えてきた課題について、市の見解を問います。</p> <p>(2) 課題の具体的な解決策について (要旨) 「福祉まるごと相談窓口」という相談支援の入り口から、実際に課題の解決につなげていくことが重要だと考えますが、課題の具体的な解決策について、市の見解を問います。</p> <p>(3) プロジェクトの立ち上げや計画を策定しないか。 (要旨) 計画をつくる過程を通じて、市が関係者・関係機関と意見交換を重ねることで、地域課題や理念、目指すべき方向性について共通認識が醸成され、連携する土壌ができると考えます。事業を進めるため、また効果的に実施するため、プロジェクトの立ち上げや計画を策定してはどうか、市の見解を問います。</p> <p>(4) コミセン活用プロジェクトを立ち上げないか。 (要旨) 地域の活動拠点であるコミュニティ・センターは、参加の場や居場所づくりにもっと活用できるのではないか。コミセン活用プロジェクトを立ち上げ、検討されてはどうか。市の見解を問います。</p>		
	2 不登校と行きしぶりの児童生徒と保護者の支援について		
	<p>(1) 市内中学生の不登校生徒と不登校傾向の生徒の現状について (要旨) 全国的に取り組むべき課題となっている不登校について、本市の中学校における不登校生徒と不登校傾向の生徒の現状をお聞きします。</p> <p>(2) 不登校でも可能な進路の選択肢を事前に示すことについて (要旨) 不登校の子どもたちも保護者も、不登校になった段階から将来に大きな不安を抱えています。中学1、2年生や、場合によっては小学生であっても、不登校でも可能な進路の選択肢について示すことはできないのか、市の見解を問います。</p> <p>(3) 公設民営のフリースクールを市西部地域に設置しないか。 (要旨) 学校外の居場所としての公設民営のフリースクールは、あかしフリースペース・トロッコ1か所のみで、定員30名に対し、7月末時点の待機数は36名と聞いています。また、市西部地域からは通いにくいいため、市西部地域にも早急につくる必要があると考えるが、市の見解を問います。</p>		

発言順位	2	議員名	黒田 智子(市民の会)
発言事項	<p>3 水泳授業の民間委託について</p> <p>(1) 進捗状況と今後の方針について (要旨) 前回6月議会の一般質問において、「近隣の市町とか全国的に実施しているところの課題等について研究している」との答弁がありました。その進捗状況と今後の方針について、市の見解を問います。</p>		

発言順位	3	議員名	寺井吉広(明石かがやきネット)
発言事項	<p>1 副市長人事について</p> <p>(1) 副市長の突然の死去が市政に及ぼす影響について (要旨) 副市長不在期間中、市政運営における連続性をどのように確保するのか。また、市政の優先事項や新庁舎整備等の重点プロジェクトの方向性に変更が生じる可能性はあるのか。さらに、対外的な支障はないのか。</p> <p>(2) 副市長の選任について (要旨) 本市のリーダーシップに大きな穴が開いたことを認識しており、新たな副市長の選任が必要である。本市の組織力の強化と市民生活の向上を図るため、市長を支えるトップマネジメントを早急に人事すべきではないか。</p> <p>2 海岸・沿岸の保全と利活用について</p> <p>(1) 海岸・沿岸利用の現状と取組、課題について (要旨) 海岸・沿岸利用の現状とそれに伴う美化の観点から、環境保全についてその取組状況と課題認識を問う。</p> <p>(2) 水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する条例と監視カメラの効果について (要旨) 令和4年3月、水上オートバイ等の安全な利用の促進に関する条例が施行された。監視カメラも設置されたが、効果はどうか。</p> <p>(3) 海岸・沿岸利用マナーについて (要旨) 海岸・沿岸利用者のマナー違反が改善されていない。ごみの放置や路上駐車などが目立つ。対策が必要であると考えているが、どうか。</p>		

発言順位	4	議員名	正木 克幸 (明石維新の会)
発言事項	1 令和4年度明石市決算について		
	<p>(1) 経常収支比率の数値について (要旨) 家庭において、給料から毎日の生活費をどれくらい使うのか。これを行政では経常収支比率という数値で表します。この収支比率をどれくらいが適正な数値と考えるのか。また、現状はどのような認識なのか。市の見解を問います。</p> <p>(2) 経常収支比率の改善について (要旨) 経常収支比率が高ければ、家庭で言えば貯金を切り崩して電気代を支払うという状況に近づいてきているということです。平均値より高い収支比率を改善するためには、どのような改善方法があるのか。市の見解を問います。</p> <p>(3) 大型設備投資を控えている現況について (要旨) 先送りにされてきた大型設備投資や、これまでにない新たな政策に取り組むためには、さらなる財源を必要としますが、市債を発行して資金調達を行う上で、さらに収支比率の悪化が見込まれます。このような状況の打開について、市の見解を問います。</p>		
2 明石市の危機管理体制について			
<p>(1) 明石市職員の危機管理体制について (要旨) 不測の事態に備えるための危機管理体制及び非常時優先業務について、市の見解を問います。</p>			
<p>(2) 明石市長の危機管理意識について (要旨) 不測の事態に備えるための、行政トップである市長の危機管理意識について、市長の見解を問います。</p>			

発言順位	5	議員名	千住 啓介 (自由民主党明石)
発言事項	1 令和4年度決算について		
	<p>(1) 実質単年度収支赤字について (要旨) 実質単年度収支額が約7.2億円の赤字となった。市税が10.4億円の増額であるが、3年ぶりの赤字である。経常収支比率も前年度より2.6ポイント悪化し94.1%となった。本市の財政見通しを不安視する声もある。市長の見解を聞く。</p> <p>(2) 決算から読み解く歳入確保について (要旨) 市税が10.4億円増額した。この主な理由は、企業業績が堅調に推移したことにより法人税が5.1億円、納税義務者数や所得増により個人市民税が3.3億円増加したこと等によるものである。このことから企業や市民の所得を増やす施策展開が必要と考えるが、市長の見解を聞く。</p> <p>(3) 歳出の目的別比率について (要旨) 歳出目的別構成比において、民生費49.3%に対して、商工費は1%、土木費は5.7%である。類似団体と比較しても民生費に偏りがあるように見えるが、市長の見解を聞く。</p>		
	2 福島県への非科学的ないわれなき風評被害の撲滅について		
	<p>(1) ALPS処理水の海洋放出について (要旨) 日本政府は、この処理水は人体及び環境への影響はなく、安全であるとの見解を示している。そのような中、隣国の中国は、この処理水を汚染水という非科学的な歪曲した報道を流し、日本産水産物の輸入停止をWTOに通知した。このような非科学的なことは決して許されるものでない。この処理水放出に対する市長の見解を聞く。</p> <p>(2) 風評被害を撲滅し、社会に安心を与える施策について (要旨) 全国知事会においても、この風評被害をなくそうと福島県産の水産物の普及を促進している。海のまちとして栄えてきた歴史を持つ本市としても支援をしていくべきと考えるが、市長の見解を聞く。</p> <p>(3) 友好都市無錫市への対応について (要旨) 無錫市とは長年友好関係を保ってきた。この関係はこのように時に役立つものとする。無錫市へ処理水の理解を求めるべきと考えるが、市長の見解を聞く。</p>		

発言順位	5	議員名	千住 啓介 (自由民主党明石)
発言事項	<p>3 明石市西部地区のまちづくりについて</p> <p>(1) 土山駅周辺のまちづくりについて (要旨) 駅北側道路の慢性的な道路渋滞、安全な歩行者道路の確保等、隣接する自治体や県と協調しながらまちづくりを進めないといけない。また、同地域は公共交通の便数も少ないエリアである。本市の認識を問う。</p> <p>(2) 国道2号の交通渋滞について (要旨) 魚住から土山付近にかけて慢性的な交通渋滞が起きている。また、その付近交差点の南北線も同様である。早期に改善を行うべきと考えるが、その課題認識と今後の方針について、市長の見解を問う。</p> <p>(3) 二見地区における公共施設整備について (要旨) 令和3年度、令和4年度にも公共施設整備検討予算が計上されていたが、実施されていない。いつになったら実施されるのか疑問に思う。市長の見解を問う。</p> <p>(4) 新しい住宅地開発に伴う公園整備について (要旨) 近年、小規模な住宅開発が行われてきた。その結果、住宅密集地が増えてきたが、公共施設、特に住民の憩いの場となる公園が不足していると考ええる。新しい公園を整備するべきと考えるが、市長の見解を問う。</p> <p>(5) 東二見駅周辺のまちづくりについて (要旨) 本市における西の玄関口にあたる駅周辺エリアの再整備について、市長の見解を問う。</p>		
	<p>4 明石市消防署中崎分署の移転について</p> <p>(1) 中崎分署移転について (要旨) 8月25日に市民団体が中崎遊園地移転の変更を求める要望書を市長宛てに提出した。9月4日から設計業務に伴うボーリング工事が予定されていたが、市長が工事をストップさせたと聞いている。なぜストップさせたのか。その真意を市長に問う。</p>		

発言順位	6	議員名	長尾博子(公明党)
発 言 事 項	<p>1 自転車用ヘルメット購入費補助事業について</p> <p>(1) 自転車用ヘルメット着用への本市の取組について (要旨) 道路交通法改正により、今年4月から自転車運転者へのヘルメット着用が努力義務となったが、本市の取組について聞く。</p> <p>(2) 自転車用ヘルメット購入費補助事業について (要旨) 自転車用ヘルメット非着用時の致死率は着用時と比べて高いことから、ヘルメット着用の啓発のためにも購入費の補助事業に取り組まないか聞く。</p> <p>2 フレイル予防のさらなる取組で健康長寿のまちづくりを</p> <p>(1) フレイル予防の普及啓発について (要旨) 健康寿命の延伸につながることから、会派としてフレイルチェックの測定を提案しフレイル予防の普及啓発などを推進してきたが、本市の進捗状況を聞く。</p> <p>(2) フレイル予防の今後の取組について (要旨) コロナ禍により、日常生活における活動量が減少し生活機能の維持が難しい高齢者が増えていることから、フレイル予防のさらなる取組による健康長寿のまちづくりについて聞く。</p>		

発言順位	7	議員名	山下 祥 (市民の会)
発 言 事 項	<p>1 魅力ある「海のまち」づくりについて</p> <p>(1) 大蔵海岸公園におけるキッチンカー導入の社会実験をしないか。 (要旨) 同公園は、市内外から多くの人を訪れ、本市における憩いの場としてのシンボリックな存在となっている。さらなるにぎわい創出や滞在価値向上のため、キッチンカー導入の社会実験を行い、市民ニーズや運営上の課題把握を行ってはどうか、見解を問う。</p> <p>2 魅力ある「スポーツのまち」づくりについて</p> <p>(1) 移動式バスケットボールコート設置の社会実験をしないか。 (要旨) 本市の公園におけるバスケットボールゴール設置を望む市民の声を数多く把握している。一方で、設置にあたっては、騒音や老朽化の問題もあると認識している。「移動式バスケットボールコート」を活用し、市民ニーズや課題を把握するための社会実験を行ってはどうか、見解を問う。</p> <p>3 魅力ある「子どものまち」づくりについて</p> <p>(1) 子育ての「6つ目の無料化」として、不妊治療の全額助成を検討しないか。 (要旨) 茨城県常陸大宮市では、子育て支援の柱として、不妊治療の全額助成を行っている。本市においても、子どもを授かりたい人を取り残すことなく、真の「こどもを核としたまちづくり」を推進してはどうか、見解を問う。</p> <p>4 魅力ある「本のまち」づくりについて</p> <p>(1) 電子図書館の充実化をしないか。 (要旨) 本市が掲げる「いつでも」「どこでも」「だれでも」手を伸ばせば本に届くまちを実現するため、既存の「電子図書館サービス」をさらに充実させ、来館・非来館型のハイブリッド型運用の整備を行わないか、見解を問う。</p>		

発言順位	8	議員名	宮坂 祐太 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>1 財政健全化推進計画の各種数値目標を踏まえ、令和4年度決算から見えてくる本市の現況について</p> <p>(1) 総人件費について (要旨) 平成27年3月に策定した明石市財政健全化推進計画では、令和5年度までに、退職手当を除く年間総人件費を、平成25年度決算との比較において20億円削減する目標を立てていました。そこで、退職手当並びに一部が物件費に計上されている正規職員以外の職員の人件費を加味した、令和4年度決算における総人件費は、平成25年度決算との数値比較においてどの程度の増減が見られるのか、この間の取組状況についてお伺いします。</p> <p>(2) 事務経費の削減について (要旨) 同計画では、10年間累積で事務経費を13億円削減する目標を立てていました。指定管理者制度の導入、業務委託の推進、経常経費の削減、ITの活用、特別会計並びに企業会計への繰出金の削減、公債費の削減等、目標達成に向けた令和4年度決算における現況についてお伺いします。</p> <p>(3) 歳入の確保について (要旨) 同計画では、令和5年度までに、市税、国民健康保険料、下水道使用料等の主要な18種類の債権の徴収率を現年度分で99%以上との目標を立てるとともに、広告収入等の歳入確保策により、10年間累積で歳入を15億円増加させる目標を立てていました。目標達成に向けた令和4年度決算における現況についてお伺いします。</p> <p>(4) 公共施設配置適正化について (要旨) 同計画では、施設の統廃合等に伴う維持管理運営経費の削減や施設跡地の売却・貸付等の収入確保により、公共施設配置適正化による収支改善の効果額として10年間累積で55億円の目標を立てていました。目標達成に向けた令和4年度決算における現況についてお伺いします。</p> <p>(5) 受益者負担の適正化について (要旨) 同計画では、新たに受益者負担を導入すべきサービスの洗い出しや各種使用料・手数料等の見直し等により、令和5年度までに年間受益者負担収入を2億円増やす目標を立てていました。目標達成に向けた令和4年度決算における現況についてお伺いします。</p>		

発言順位	8	議員名	宮坂 祐太 (明石かがやきネット)
発言事項	(6) 次期財政健全化推進計画の策定について (要旨) 同計画は今年度計画期間の最終年度を迎えていますが、次期財政健全化推進計画の策定について、市の認識をお伺いします。		

発言順位	9	議員名	上田 雅彦 (明石維新の会)
発言事項	<p>1 明石市新ごみ処理施設整備について</p> <p>(1) 事業費削減について (要旨) 平成11年の供用開始より25年目を迎えている明石クリーンセンターの経年劣化により、新施設への建て替え計画が進んでいる。イニシャルコストが418億円、ランニングコストが20年間で約256億円と莫大な試算がされている現状の中、事業費削減のために今後どのような取組を考えているか。</p> <p>(2) 活用方法について (要旨) 新ごみ処理施設整備基本計画において、余剰電力・余熱活用機能、環境学習・啓発機能などを設ける方針としているが、どのように検討しているか。</p> <p>(3) 供用開始までの市民への啓発について (要旨) 令和12年度供用開始をめどとしているが、それまでにごみ減量についてのロードマップは考えているか。また、どのようにSDGsと関連づけているか。</p> <p>(4) ごみ袋有料化について (要旨) ごみ袋が有料化されている自治体もあるが、本市において検討しているか。</p> <p>2 「コミュニティバス」市内東部エリアへの延伸について</p> <p>(1) コミュニティバスの今後について (要旨) 本来は、コミュニティバスは従来の交通でカバーしきれていないニーズに合わせてルートを設定していく事業である。①利便性の向上②福祉③地域活性化の観点から、どのような考えであるか。そして、今後の対応について見解を聞きたい。</p> <p>(2) 「コミュニティバス」市内東部エリアへの延伸について (要旨) 高齢者が多く住む地域、特に市内東部エリアへの延伸をどのように考えているか。</p> <p>(3) コミュニティバス以外の方法について (要旨) コミュニティバス以外の方法（デマンド型交通・ライドシェア型等）の検討はされているのか。</p>		

発言順位	9	議員名	上田 雅彦 (明石維新の会)
発言事項	<p>3 あかし保健所所管の問題について</p> <p>(1) 集合住宅における受動喫煙について (要旨) 2020年に改正健康増進法が施行され、町なか等での受動喫煙対策はかなり進んできているように思えるが、本市における集合住宅での受動喫煙対策について、見解と今後の方針をお聞きしたい。</p> <p>(2) 実態調査について (要旨) 今までに集合住宅における受動喫煙に関しての実態調査は実施されたことがあるのか。もし、ないのであれば、今後の実施の可能性について見解をお聞きしたい。</p> <p>(3) ひきこもり対策について (要旨) 厚生労働省が今年度中に、ひきこもりについて全自治体を対象に実態調査を実施する旨の報道があった。その中でも8050問題が喫緊の課題であると認識しているが、対策をお聞きしたい。</p> <p>(4) プラットフォームづくりについて (要旨) ワンストップでできる伴走型令和版プラットフォーム(明石モデル)なるものや、生きづらさを感じている方々を対象に、居場所づくりや拠点づくり等は検討できないか。</p>		
	<p>4 今後の本市の観光について</p> <p>(1) 大阪・関西万博への参画について (要旨) 今後の本市へのインバウンドも含めた観光客流入増を見据え、その起爆剤とするべく、万博開催まで600日を切ったこの段階で本市としての具体的な取組が見えてきていないが、見解をお聞きしたい。</p> <p>(2) ひょうごフィールドパビリオンについて (要旨) 「ひょうごフィールドパビリオン」SDGs体験型地域プログラムへの参加について、県内他自治体は参加表明をしているが、本市の考えをお聞きしたい。</p>		

発言順位	10	議員名	石井 宏法（自由民主党明石）
発 言 事 項	<p>1 明石市の交通政策について</p> <p>(1) 明石の新たな交通政策について (要旨) 令和5年6月議会において、市長は明石市の新たな交通政策を重要なテーマとし、DXなど様々な手法を含めて知恵を絞る必要があるとして、一緒に考えてほしいと答弁した。しかし、その後、何の音沙汰もない。どうなっているのか見解を問う。</p> <p>2 公職選挙法違反について</p> <p>(1) 違法2連ポスターについて (要旨) 令和5年6月議会において、明石市選挙管理委員会より丸谷聡子氏と泉房穂氏の2連ポスターは公職選挙法に抵触するとの見解が示され、市長自らの調査と市民への公表を求めた。その後の対応を問う。</p> <p>3 タウンミーティングについて</p> <p>(1) タウンミーティングについて (要旨) 令和5年6月議会において、市長はタウンミーティングで市民に明石の施策を一緒に考えていただくとの考えを示したが、市長の考えに沿わない市民の意見の扱いや、市民同士の意見が合わない場合の扱いについての認識を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	飯田伸子(公明党)
発言事項	<p>1 民間資源を活用した市民への支援体制整備について</p> <p>(1) 公的資源だけでは支援できない市民に対する市の対応について (要旨) 市では、地域総合支援センターを中心に断らない相談支援に取り組んでいるが、公的支援の対象外となる市民に対してどのように対応しているのか、現状と今後の取組を問う。</p> <p>(2) 民間資源を活用した支援体制の整備について (要旨) 公的資源だけでは支援できない市民に対し、民間資源と連携し対応している自治体が増えてきている。本市としても、民間資源を活用した支援体制を整備すべきと考えるが、現状と今後の取組を問う。</p> <p>2 小児医療提供体制の充実について</p> <p>(1) 市の小児救急医療体制について (要旨) 本市の子どもが救急搬送される場合、市外の病院に搬送される事例が多いと聞く。また、市の夜間休日応急診療所の小児科の診察時間が短く、不安との声もある。本市の小児救急医療体制の現状とそれに対する市の認識を問う。</p> <p>(2) 小児科の診療所不足について (要旨) 小児科の診療所が少なく、近隣での受診が容易ではない地域があると聞く。安心して子どもを育てるためにも、市として対策を講じる必要があるのではないか、現状と見解を問う。</p> <p>3 小学校給食の無償化について</p> <p>(1) 小学校給食無償化実現に向けての現状はどうか。 (要旨) 本年3月、市は小学校給食の無償化について、財源確保が困難であるため無償化は厳しいが、保護者に新たな負担が増えないよう努めるとの見解を示した。しかし、その後も物価高騰が続き、給食費の無償化や負担軽減を求める声がさらに多く届いている。現状と市の見解を問う。</p>		

発言順位	12	議員名	中川夏望(市民の会)
発言事項	<p>1 令和4年度決算について</p> <p>(1) 今後の基金残高の見通しについて (要旨) 標準財政規模に対する財政調整基金の割合について、5%~20%を目標とすることが一般的である。本市においては、令和4年度の3基金合計が119億円、標準財政規模対比で18.0%、前年度から0.1%改善しており、他の健全化判断指標と同様に堅調に推移している。今後の基金残高の見通しについて、本市の見解を問う。</p> <p>(2) 今後の市債の見通しについて (要旨) 令和4年度の一般会計の市債残高は1,129億円であった。今後、新庁舎建て替えで123億円の発行のほか、新ごみ処理施設整備に係る市債が計画されており、5年後の令和9年度の市債残高は1,230億円、令和4年度対比で101億円の増加が見込まれている。今後の市債残高の見通しについて、本市の見解を問う。</p> <p>(3) 明石市公共施設配置適正化基本計画と財政白書での見通しの公開について (要旨) 令和4年度の本市の有形固定資産償却率は58.2%であった。令和3年度の県下市平均66.2%や類似団体平均63.8%を大きく下回っており、本市の公共施設に対する投資状況は他市と比べると順調である。しかし、公共施設の老朽化は全国的な課題であり、本市においても今後の対応が求められている。 明石市公共施設配置適正化基本計画の計画期間は令和6年度までとなっているが、今後新たに計画を策定する予定はあるのか。また、本計画や公共施設マネジメントを含めた今後の財政見通しを財政白書で公開してはどうか、本市の見解を問う。</p> <p>(4) 水道事業の今後の方向性について (要旨) 水道事業の市債残高は、令和4年度67億円に対し、5年後の令和9年度は124億円、令和4年度対比で57億円、46%の増加が見込まれている。今後、収益的収支がより厳しい状況に陥るものと見込まれる中で多額の投資が予定されており、財源見通しは厳しい状況にある。水道事業の投資や経営の方向性について、本市の見解を問う。</p>		

発言順位	12	議員名	中川 夏望(市民の会)
発言事項	<p>2 市民の財産と市職員を守るための監査の実効性確保に向けて</p> <p>(1) 定期監査で指摘を受けた事務へのフォローについて (要旨) 明石商業高等学校は準公金の取扱いについて、5年前の定期監査において「仮に問題事案が発生した場合、信頼を失墜する」と厳しく指摘を受け、措置を講じた。それにも関わらず、令和5年3月に現金(準公金)の窃盗事案が発生してしまった。 明石市監査基準は、リスクの高い事務に重点的に監査資源を投入するリスク・アプローチを採用している。今後、定期監査で指摘を受けた拠点は、措置の報告だけでなく翌年度に運用状況をしっかりと確認する。特に、統制環境が悪ければローテーションの3年後ではなく翌年の監査の対象とする等の対応をしてはどうか。来年度以降の監査計画について、見解を問う。</p> <p>(2) 監査で指摘を受けた事項の確認について (要旨) 監査はチェックし、不備があれば指摘するが、強制力はない。行政側が監査の指摘を真摯に受け止め対応しなければ、不正や誤謬は防げない。 本年度の指摘事項について、改めて、真摯に対応し運用するよう徹底していただきたい。本市の見解を問う。</p> <p>(3) 内部統制制度の導入について (要旨) 本市は中核市であり、内部統制の構築は努力義務である。しかし、内部統制制度を導入し、リスクが見える化することにより、事務執行のプロセスや役割分担が可視化されることになり、非効率な事務作業が減少することが期待される。また、議員から選出される監査委員が行政監査に注力することにもつながる。 これらのメリットに鑑み、まずは、リスクが高く重要な業務だけでも内部統制制度を導入することを検討してはどうか、本市の見解を問う。</p>		

発言順位	12	議員名	中川 夏望(市民の会)
発言事項	<p>3 子育て支援のさらなる発展のために</p> <p>(1) こども会議の実施に向けて (要旨) 令和5年度にこども基本法が施行され、現在、国の主導で「こども大綱」策定のためにこども政策推進会議を開催し、当事者であるこどもたちからの意見を集めている。 本市においても、国に先駆けてこどもの意見を直接聞き、明石市こども総合支援条例の制定にこどもの声を取り入れている。条例の制定にとどまらず、政策の検討段階でも、積極的にこども会議やアンケート等からこどもや若者の意見を取り入れるべきではないか、本市の見解を問う。</p> <p>(2) こども会議の具体的な提案(朝霧駅前ロータリーの整備)について (要旨) JRで神戸大阪方面から明石市に入る最初の駅が朝霧駅である。現在、駅前ロータリーは時計とモニュメントがあるだけの殺風景な状態である。朝霧駅に帰ってきてほっとするような駅前にしてほしいとの住民の声を聞いている。 先に述べたこども会議を利用し、こどものまち明石らしく、近隣小学校や中学校、若者のアイデアを取り入れた整備をしてはいかがだろうか。本市の見解を問う。</p> <p>(3) 待機児童解消に向けて (要旨) 令和5年度の待機児童数は44名。そのうち1歳児が半数強の23人を占める。昨年度は1歳児だと、フルタイム・育休明けの高得点家庭でも入所できないエリアもあった。 令和6年度4月入所の募集に対して、具体的にどのような対策を行っているのか、本市の見解を問う。</p> <p>(4) 病児保育のICT化の推進に向けて (要旨) 現在、本市に2か所ある病児保育では、予約システムが整備されておらず、いまだに電話予約のみで受け付けている。子育て家庭のために早急に予約システムを導入していただきたいと考えている。本市の見解を問う。</p>		

発言順位	13	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p>1 こどもの居場所、遊び場について</p> <p>(1) こどもの居場所づくりについて (要旨) 今年4月に発足したこども家庭庁が掲げる政策の柱の一つに、「こどもの居場所づくり」がある。地域のつながりの希薄化等の社会の変化、児童虐待や不登校、いじめ、自殺するこども・若者の増加や価値観の多様化に伴って、多様な居場所づくりが求められており、「こどもの居場所づくりに関する指針(仮称)」に基づき強力に推進するとしている。本市においては、これまで、こども食堂やあかしフリースペース・トロッコなど、こどもの居場所づくりに取り組んできたが、こどもの環境整備はまだまだ必要であると考え。今後の市の取組について見解を問う。</p> <p>(2) 児童館について (要旨) 本市には児童館が設置されていない。隣接する自治体には設置されており、近隣から本市へ転入されてきた子育て世帯からの要望もある。世帯収入や親の経験によって生まれる体験格差とその世代間連鎖も問題視されており、いつでも、誰でも、身近な地域で遊びや体験活動ができる公の施設整備が必要と考える。また、こどもを核としたまちづくりを掲げる本市に、児童厚生施設である児童館がないのは不整合ではないかと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 既存施設の活用について (要旨) 市内には常設のこどもの居場所として活用できそうなスペースがある。特に、ふれあいの里は高齢者から全ての市民へと対象を広げ、多世代交流施設として今年度から運用され、スペースの工夫と人員の配置によって児童館に代わる機能を備えることができるのではと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(4) (仮称) 西明石地域交流センターにおける交流機能について (要旨) 西明石は、こどもの数も多く、公園や遊び場に関する要望が高い地域である。ここにこそ児童館の整備が可能かつ必要なのではと考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	13	議員名	林 丸 美 (明石かがやきネット)
発 言 事 項	<p>2 高齢者等の移動支援について</p> <p>(1) 敬老優待乗車券について (要旨) 地域では、無料でなくてもよいので持続可能でニーズに合ったバスルートの整備を望む声も多い。利用する方と利用されない方の不平等性についてご意見を多くお聞きするが、改善は図れないか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 高齢者等の移動支援のあり方検討会について (要旨) 地域の高齢化やまちの姿によって、交通需要の変化も感じている。令和2年に高齢者等の移動支援のあり方検討会が設置されたが、その後どうなっているか、市の見解を問う。</p>		

発言順位	14	議員名	高尾 秀彰 (明石維新の会)
発言事項	<p>1 新庁舎について</p> <p>(1) 市町村役場機能緊急保全事業に対する交付税措置について (要旨) 2017年に新庁舎建設基本構想を策定し、その後、様々な過程を経て、現在、実施設計の段階にきていますが、起債対象経費の交付税措置については、予定されているとおりに問題なく受けることができるのか、お答えください。</p> <p>(2) 新庁舎整備に関するアンケート調査、市民ワークショップでの意見反映について (要旨) 市民の皆様からの意見をどの程度建設に反映されるのか。基本設計時点の概算工事費が139億円となっていました。変更はないのか。また、市民意見を建設に反映した場合、工事費に影響を与えるのか、お答えください。</p> <p>2 不妊治療について</p> <p>(1) 不妊治療での保険外診療に対する助成について (要旨) 2022年4月から不妊治療が保険適用となり、これまで経済的な理由で不妊治療を諦めていた人も幅広い治療を選択しやすくなり、これまで自由診療扱いで全て実費だった検査や治療は、年齢などの条件に合致すれば3割負担となりました。しかし、不妊の原因によっては保険適用外の診療を選択せざるを得ない人も少なくはなく、検査の内容により保険対象となるものや、検査の目的によっては自由診療（全額負担）となるなど、まだまだ不妊治療の経済的ハードルが高いようです。助成金も選択できるような形になればというような声もある中、課題を感じて動き出している自治体もあります。福島県では、保険外診療に対して最大30万円の独自の助成金を始めたと聞きます。少子化対策としての先進的な取組について、本市の見解を問います。</p>		

発言順位	15	議員名	辰 巳 浩 司（自由民主党明石）
発 言 事 項	<p>1 明石駅周辺の民間開発への参画について</p> <p>(1) 現在の状況等について (要旨) 明石駅南東側の山陽電鉄用地、及び明石駅南側の「らぼす」の現状、並びに今後の方向性を市はどの程度把握しているのか。</p> <p>(2) 開発への市の参画について (要旨) 本市の一等地への大規模開発については、民間開発とはいえども駐車場やオーバーストアの問題が発生しないよう、市が一定関与すべきであると考えます。市の見解を問います。</p> <p>2 学校の水泳授業の民間委託について</p> <p>(1) 近隣自治体の水泳授業における民間プールの活用状況について (要旨) 近隣市などでは水泳授業の民間委託が広がっているが、実際にはどのような状況なのか。</p> <p>(2) 本市における今後の方針について (要旨) 本市では、水泳授業の民間委託について検討しているのか。</p>		

発言順位	16	議員名	河村 和歌子 (公明党)
発言事項	<p>1 あかしソジトモスターカンパニー制度について</p> <p>(1) あかしソジトモスターカンパニー制度の概要について (要旨) 本市は1月よりLGBTQ+当事者の生きづらさの解消を図るために、企業などに働きかける制度をスタートしている。相談を受ける中で、LGBTQ+当事者もこの制度に期待を寄せている。制度の概要について問う。</p> <p>(2) あかしソジトモスターカンパニー制度の現状及び今後の展望について (要旨) 今年4月に、あかしジェンダー平等の推進に関する条例が施行され、条例に基づきさらなる取組を進める必要がある。当事者にとっても大きな意義のあるこの制度についても、より一層周知に努めるべきである。</p> <p>2 9価HPV（子宮頸がん予防）ワクチンの導入について</p> <p>(1) HPVワクチン接種における積極的勧奨の再開後の状況について (要旨) 国が積極的勧奨を差し控えていたことから、3回接種が完了していない対象者へのキャッチアップ接種について、本市の周知及び現状を問う。</p> <p>(2) 9価HPVワクチンの導入について (要旨) 9価HPVワクチンは、既に定期接種で使用されているHPVワクチンが対応できる主要な2種類のウイルス型に加え、より多くのウイルス型に対応でき、罹患率・死亡率の減少に期待ができるため、導入の周知が必要である。本市の状況を問う。</p>		

発言順位	17	議員名	山中 裕司(市民の会)
発言事項	<p>1 高齢者の熱中症対策について</p> <p>(1) 高齢者の熱中症対策の取組の現状について (要旨) 熱中症対策は、政府が重点的に取り組んでいる気候変動の適応策の中でも、国民の命や健康に直結する重要な課題であるとして熱中症対策行動計画を策定している。本市の高齢者における熱中症の現状と対応を問う。</p> <p>(2) クールスポット・クーリングシェルターの拡充について (要旨) 高齢者をテーマにした7月のタウンミーティングにおいて、熱中症対策として、冷房が効いた部屋で休憩をとれる場所があればとの提案があり、早速8月中旬からふれあいの里がクールスポットとしても利用できるようになった。来年度以降、もっと公共施設を開放するなど拡充できないか。今後の取組について、市の見解を問う。</p> <p>(3) 給水スポットの設置について (要旨) 水分補給のために、マイボトルを持ち歩いている人が増えた。熱中症対策と環境負荷の低減にもつながることから、給水スポットを増やす必要があると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>2 持続可能な里海づくりについて</p> <p>(1) 明石の美しい砂浜を守る取組について (要旨) バーベキューで残った炭を砂浜に埋めていくケースが数多くある。貴重な自然を保護していくために、使用した炭を埋めないよう看板や明石市のホームページで啓発活動をしてはどうか、市の見解を問う。</p> <p>(2) アカウミガメを題材とした環境教育への取組について (要旨) 以前は、本市海岸でアカウミガメの上陸・産卵が確認されていたが、残念ながら近年は確認されていない。今後、アカウミガメ保護活動を通じて、子どもたちが自然環境と人間の在り方や自らで郷土の環境を捉え行動する力を養うことができると考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	18	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発言事項	<p>1 本市の小学校の抱える課題とその対応について</p> <p>(1) 児童が利用するICT機器でのトラブルについて (要旨) 現在、全国的にも小学生のスマートフォンをはじめとするICT機器等の所持率が高くなっており、SNS等に関するトラブルが頻繁に起こっている。このような生徒指導上の問題にどのように対応・解決していくのか、市の見解を問う。</p> <p>(2) 学校教育機器機材の老朽化について (要旨) 教材・機器の老朽化が心配される。早急に点検・改善する必要があると思うが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 教職員の負担軽減について (要旨) 教職員の未配置問題があるなかで、現状配置されている教職員が少しでも児童に向き合う時間をつくることが喫緊の課題である。エアコンのフィルターの掃除、教室のカーテンの洗濯、印刷物の配布、配布物の印刷業務等の雑務について、予算化し、業者に委託をしてはどうか。市はどのように考えているのか、市の見解を問う。</p> <p>(4) 水泳指導の外部委託について (要旨) 各校のプールが老朽化し、建て替えや年間維持費に多大な予算がかかることが予想される。また、児童の安全のため、当該学年の担当でない教職員がプールの監視を行っている現状もある。そのような現状に鑑み、水泳指導の外部委託を考えてみてはどうか、市の見解を問う。</p> <p>2 公立中学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について</p> <p>(1) 本市の運動部活動の地域移行の進捗状況について (要旨) 令和5年度から令和7年度までの3年間に、スポーツ庁・文化庁が地域移行を各自治体で進めるよう示されたが、本市の進捗状況を聞く。</p> <p>(2) 地域連携や地域クラブ移行の今後のスケジュールについて (要旨) 本市では部活動との連携を考える会を設置し、進められているが、今後どのように取り組まれるのか、スケジュールを含めた本市の考えを問う。</p>		

発言順位	18	議員名	竹内 きよ子 (明石かがやきネット)
発言事項	3 安全で安心して暮らせるやさしいまちづくりについて		
	<p>(1) 市内各所にベンチを設置してはどうか。 (要旨) 今年度の猛暑により、町なかで高齢者の方が立っている姿を見かけたり、待ち合わせにベンチがほしいとの声を聞いたりする。特に、JR大久保駅改札口周辺コンコースに設置を求める声が多い。熱中症対策としても必要であるように思うが、市内の設置状況を含め、市の見解を問う。</p> <p>(2) JR明石駅バス停留所に期間限定でミストを設置してはどうか。 (要旨) 猛暑時、10分近くバス待ちをしている市民を見ると、何か対策がないのかと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 必要な場所に街路灯を増設してはどうか。 (要旨) まちづくりアンケートによると、犯罪防止の観点からも、街路灯の増設を求める声を聞く。現在の街路灯の設置状況と設置要件を踏まえた環境整備が必要であると認識しているが、市の見解を問う。</p> <p>(4) 防犯カメラの設置状況と増設について (要旨) 高齢者を狙った犯罪や不審者から身を守るために、地域防犯対策が必要である。本市では73台の防犯カメラが設置されていると聞いているが、自治体独自で運用しているところがあるとも聞く。設置状況と増設について、市の見解を問う。</p>		

発言順位	19	議員名	中村 茂雄 (明石維新の会)
発言事項	<p>1 市政運営及び人事行政について</p> <p>(1) 本市の現状について (要旨) 平成27年3月策定の本市財政健全化推進計画において、職員数の削減目標が示されているが、全市民が快適で安心な日常生活を送れるよう、あらゆる面でのサポートを行うのが行政職員の役割である。本市の現状をお聞かせください。</p> <p>(2) 各局における体制について (要旨) 行政が市民サービスを行う上で、「職員配置の基本は業務量に応じた適正な配置、適材適所の配置の2点である」と回答されているが、的確に実行されているのか。 中核市となり人口も業務量も増え、市民サービスの低下を招くような職員体制になってはいないか、本市の現状をお聞かせください。</p> <p>(3) 繁忙期における取組について (要旨) 新型コロナウイルス発生時には、市民の皆様へワクチン接種を推奨し、感染への不安や混乱が発生せぬよう、他職場より一時的に職員を事務従事者として配置し業務を行ってきた。繁忙期における取組について、現状をお聞かせください。</p> <p>2 あかし動物センターについて</p> <p>(1) 人と動物が共生する社会について (要旨) 平成30年の中核市移行に伴い、県から動物愛護管理業務が移譲され、あかし動物センターが設置されました。その後5年が経過しておりますが、市民からはあかし動物センターのことを知らないという声も耳にします。そこで、これまでの動物センターの取組状況や現状の課題について、また、今後の展開をお聞かせください。</p> <p>(2) 明石まちねこプロジェクトについて (要旨) 飼い主のいない猫によるトラブル解決に向けた取組として、明石まちねこプロジェクトを行い、今年で3年目になると聞いています。現在のプロジェクトの取組と今後の展開についてお聞かせください。</p>		

発言順位	19	議員名	中村 茂雄 (明石維新の会)
発言事項	<p>(3) ボランティアの支援について (要旨) 人にも動物にもやさしいまち明石を目指すためには、動物に起因する問題を未然に防ぐなど、ボランティアの協力は重要と考えます。また、ボランティアは熱意を持って活動をされておられる中、その経費がかかるため、今後の活動を継続することが簡単ではないと考えます。そこで、行政からボランティアに協力を依頼する場合などは、最低限交通費の支援は必要と考えますが、本市の考えをお聞かせください。</p> <p>3 大久保駅周辺市有地について</p> <p>(1) 大久保地域のまちづくりについて (要旨) 中部地区保健福祉センター用地・大久保市民センター・JR大久保駅南ロータリー・JT跡地公共公益施設用地を利活用し良好なまちづくりを行うことが大久保地域のさらなる活性化につながる大きな取組であると考えます。 大久保地域の良好なまちづくりを行うためには、これらの駅周辺市有地にどんな機能が必要と考え、利活用に向けてどのように取り組まなければならないと思われるのか、本市の考えをお聞かせください。</p> <p>(2) 市有地利活用財源や全体構想について (要旨) まちづくりにおいて、人が集まり活用できる居場所や施設は必要であり、市民が利用しながらまちがさらなる発展へと進まなければならないと考えます。 市有地を利活用するには、本市の財政面も大きな課題と思われませんが、事業費の財源はどのように考えているのか。また、駅周辺市有地を含む都市機能誘導区域の役割を踏まえ、駅周辺市有地全体でどのような構想をつくるのか、本市の考えをお聞かせください。</p>		

発言順位	20	議員名	榎本 和夫（自由民主党明石）
発言事項	<p>1 高丘小中一貫教育校について</p> <p>(1) 設立から現在までの成果や課題について (要旨) 一貫校としての特色や課題に対しての達成度の状況を問う。</p> <p>(2) 兵庫型学習システムについて (要旨) 教員不足と言われる中、加配を含めての現状を問う。</p> <p>(3) 一貫教育校としての情報発信、広報について (要旨) 一貫校としての情報発信が弱いと思われる。</p> <p>(4) 今後の本市としての一貫教育への取組について (要旨) 高丘小中一貫教育校の成果を受けて他校区にも展開するのか。</p> <p>2 旧明石市立図書館について</p> <p>(1) 兵庫県との協議について (要旨) 常に兵庫県と協議するとの今までの答弁であるが、その実際を問う。</p> <p>(2) 明石市としてどう対処するのか。 (要旨) 違法とも言える状態をいつまで放置するのかを問う。</p>		

発言順位	21	議員名	金尾 良信(市民の会)
発言事項	<p>1 明石商業高校福祉科開設について</p> <p>(1) 生徒募集について (要旨) 第1回目学校説明会(8月24日)の参加状況と生徒の様子についてお答えください。</p> <p>(2) 社会福祉法人、事業所への協力要請について (要旨) 6月議会において、生徒に社会福祉についてより一層関心を持ち、職業にしたいと思ってもらえる取組をしてはどうかと提案させていただきました。その後の社会福祉法人、事業所等への実習、ボランティアなどへの協力要請の状況についてお答えください。</p> <p>2 住みなれた地域で安心して暮らせる障害者支援及び福祉現場の人材確保の観点からも定年退職後の高齢者が福祉現場で働けるような仕組み作りについて</p> <p>(1) 障害者の就労場所の拡充について (要旨) 障害者の法定雇用率が2024年4月に2.5%、2026年度中に2.7%に引き上げられるが、市の指定管理や業務委託の企業・事業所などに障害者雇用の協力をいただき、サポーターとして就労支援について実績、専門的スキルがある支援関係機関と連携を取り、障壁となる課題を改善しながら障害者就労の拡充を行えないか。また、市の資源循環課のキャリアアップ事業の振り返り、本市独自のしごと体験をさらに市内に広げることは可能か、見解をお答えください。</p> <p>(2) 障害者の移動支援要件の緩和について (要旨) 本人の障害特性を勘案して通学、福祉事業所通所、趣味活動並びに定期的なショートステイ利用の移動支援等の利用を無期限で利用できるようにできないか。また、実際に現場で対応している自立支援協議会等と一緒に移動支援の在り方について検討できないか、市の見解をお答えください。</p> <p>(3) 福祉現場で働く職員のさらなる待遇改善に向けたヒアリングの実施状況について (要旨) 6月議会において福祉現場で働く職員のさらなる待遇改善に向けた取組についての質問を行い、まずは事業所や働く職員の意見をヒアリングし実施を検討するとの答弁があったが、その後の進捗状況はどうか、市の見解をお答えください。</p>		

発言順位	21	議員名	金尾 良信(市民の会)
発言事項	<p>(4) 高齢者の方の福祉現場での活躍(元気高齢者の生きがいの場づくり)について</p> <p>(要旨) 定年退職後や職業から引退後も、引き続き何らかの仕事を続けることで、社会とのつながりを希望し、自分に合ったライフスタイルを過ごしたいと考える高齢者が増えているが、福祉現場によっては高齢者の持つ知識と経験を生かせる場があると思われる。福祉現場の人材確保としても手だてはないでしょうか。市の見解をお答えください。</p>		
	<p>3 自転車のヘルメット着用普及拡大について</p> <p>(1) 自転車のヘルメット購入費用一部助成について</p> <p>(要旨) 自転車のヘルメットの着用について、改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から全ての自転車利用者に対してヘルメット着用が努力義務になった。自転車事故による死者の約6割は頭部を損傷していると言われている。</p> <p>高校生等のヘルメット着用率が低く、事故に遭遇した際のリスクが高いなど地域からの声も出ている。自転車乗車中の交通事故による被害を軽減するため、乗車時のヘルメット着用を促進することを目的として、自転車のヘルメットの購入費の一部を助成できないか、市の見解をお答えください。</p>		

発言順位	22	議員名	出雲 有希子（自由民主党明石）
発言事項	<p>1 明石市の産後ケア事業について</p> <p>(1) 昨年の9月議会での一般質問以降に改善は見られたのか。 (要旨) 昨年の9月議会において、丸谷市長が当時議員として一般質問されたことにつき、本市では改善があったのか。また、市長になられて、産後ケア事業についての考えは同じなのか見解を問う。</p> <p>(2) 本市の事業者への報酬が低い件について (要旨) 本市には助産所としてのケア施設はないため、近隣市町に頼らざるを得ないが、本市の事業所への支払報酬額は近隣市町に比べて低く、助産所に受入れを断られることが多いと聞く。人件費や光熱水費、食費等の高騰を受け、助産所運営も厳しくなっているにもかかわらず、反対に産後ケアの利用者が増加していることにつきどのような対策をするのか、本市の見解を問う。</p>		
	<p>2 歳入歳出決算書について</p> <p>(1) 歳入の収入未済額について (要旨) 収入未済額の内訳として、一番古いもので何年のものがいくら残っているのか。また、収入未済額を減らすための試みや努力をされているのか問う。</p> <p>3 事業所税について</p> <p>(1) 本市の事業所税の用途について (要旨) 事業所税は、都市環境の整備及び改善に関する事業に要する費用に充てるための目的税と規定されている。その用途に基づく事業に係る一般財源に充てることとなっていますが、学校・図書館等整備事業や社会福祉施設等整備事業とはどのようなものを指すのか。</p> <p>(2) 都市環境の整備事業について (要旨) 一般的に都市環境の整備は土木費にあたるのかと考えるが、事業所税が賦課された平成30年以降、少なくとも事業所税を充てたと思われる増加は見受けられない。もともと予定されていた山手環状線事業と江井ヶ島松陰新田線事業以外に、事業所税が新たに賦課されたことによって考えられた事業はあるのか問う。</p> <p>(3) 商工費について (要旨) 事業所税は、ある一定以上の事業所を使用している者及び一定の従業員を雇用している者に対して課税されるが、商工費の推移を見てもコロナの交付金事業以外の増加は見受けられない。 事業所税を負担している事業者を含む商工業者に対して、事業所税を充てた施策は考えられないのか、本市の見解を問う。</p>		

発言順位	23	議員名	井藤圭順（自由民主党明石）
発 言 事 項	<p>1 DX推進事業について</p> <p>(1) 現在のDX推進事業の進捗状況について (要旨) 令和3年11月にDX推進本部が設置され、昨年3月、取組の方針や時期等を定めた明石市行政DX推進方針が策定されました。現状の進捗状況について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) DX推進事業の今後について (要旨) デジタル技術の活用により、行政サービスをより便利に、より早く市民に提供することや業務の効率化を図ることで、市民に寄り添うとされています。今後のDXを活用した地域活性化などの対応について、市の見解を聞く。</p> <p>2 明石市土地開発公社の解散後の取組について</p> <p>(1) 明石市土地開発公社の解散の経緯と現状について (要旨) 明石市土地開発公社の解散にあたり、市による第3セクター等改革推進債の借入れ及び代位弁済により取得した土地など、これまでの経緯と現状について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 大久保北部並びにその周辺市有地の利活用について (要旨) 大久保北部開発事業用地については、広範囲にわたり市有地と民有地が混在するなど、依然として有効な活用方策が見いだせていないような状況である。現在、有効活用に向けて委託調査をしているが、その進捗状況と周辺市有地を含めた利活用について、市の見解を聞く。</p>		

発言順位	24	議員名	三好 宏 (自由民主党明石)
発言事項	<p>1 明石市公設地方卸売市場のこれからの在り方について</p> <p>(1) 明石市公設地方卸売市場のこれからの在り方について (要旨) 昭和52年の開設以来、47年目を迎えており、建屋は耐用年数が過ぎ耐震基準も満たしていない。著しい老朽化により、天井からの落下物があったことや、手すりやシャッターの腐敗も進み、建て替えも含めた大規模な再整備の必要性が高まっている。</p> <p>再整備にあたっては、数年前から学識経験者も交えて議論が進んでおり、市場だけの整備のみならず、PPPやPFIの手法を用いて、民間の大手運送会社、ネット通販会社、給食提供会社などの流通を担う事業者と共同で、関西一円の重要な流通拠点とする計画も研究されており、早急な対応が望まれている。市の現状認識と、今後の方針を聞く。</p> <p>2 山陽電鉄藤江駅周辺バリアフリー整備について</p> <p>(1) 山陽電鉄藤江駅周辺バリアフリー整備について (要旨) 議案第65号 令和5年度明石市一般会計補正予算(第4号)には、山陽電鉄藤江駅バリアフリー事業補助金116万6千円が計上され、山陽電鉄・兵庫県の協力も得ながら、令和5年3月に改正された明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画で示された移動円滑化促進地区の方針である駅構内の移動経路等のバリアフリー化、多機能トイレの設置、生活関連経路における歩道の新設・改良、点字ブロックの設置、ユーザビリティに配慮した駅のバリアフリー化の促進と、駅周辺との連続性の確保が進もうとしている。整備内容は、南側改札の新設、多機能トイレの新設、ホームへの階段のスロープ化、北側改札の改修などが予想されるが、具体的な整備内容と今後の整備スケジュールを聞く。</p>		

発言順位	24	議員名	三好 宏（自由民主党明石）
発言事項	<p>3 西明石地区活性化に向けた取組について</p> <p>(1) 西明石地区活性化に向けた取組について</p> <p>(要旨) 西明石地区において、J R西明石社宅用地等を含めたエリア全体のまちづくりを行うことを目的に、明石市とJ R西日本が2020年12月に西明石駅周辺におけるまちづくりの推進に関する協定を締結して、まちの再整備が進められている。</p> <p>2022年4月には都市計画の変更（駅前広場・アクセス道路・用途地域等）や事業計画について、地域説明会を開催した後、明石市都市計画審議会等の法定手続きを経て、都市計画決定を行い、2023年度（令和5年度）より、国の補助制度を活用しながら事業着手できるように国、県への申請手続きを進めている段階である。現在の進捗状況と課題、そして、今後のスケジュールを聞く。</p>		

発言順位	25	議員名	辻本達也(日本共産党)
発 言 事 項	<p>1 小学校給食の無償化について</p> <p>(1) 市長の見解を問う。 (要旨) 実施するべきと考える。市長の見解を問う。</p> <p>2 幼稚園・保育所の消防用設備等の不備について</p> <p>(1) 調査結果について (要旨) 6月議会で指摘した。その後の調査の状況と結果について問う。</p> <p>(2) 今後の対応について (要旨) 不備が確認された施設について、どのように対応するのかを問う。</p> <p>3 生活福祉課の紛失金203万7,115円について</p> <p>(1) 検討状況について (要旨) 6月議会で指摘した。その後の検討状況について問う。</p> <p>(2) 今後の対応について (要旨) 問題意識については一致していると認識している。今後の対応について問う。</p> <p>4 職員の健康管理と健康面に配慮した人材登用について</p> <p>(1) 職員の健康管理に係る啓発について (要旨) 認識を問う。</p> <p>(2) 健康面に配慮した人材登用について (要旨) 認識を問う。</p>		

発言順位	26	議員名	中西礼皇（対話の会あかし）
発言事項	<p>1 生産緑地制度の導入について</p> <p>(1) 制度導入の意義について (要旨) 市内農業者から生産緑地制度の導入を求める声が多い。市として導入の意義をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 市長の考えについて (要旨) 丸谷市長は、市議会議員時代に制度の早期導入を求める発言をされていますが、現在の考えはいかがか。</p> <p>(3) 今後の議論について (要旨) これまで各関係者との意見交換や調整を行ってきたはずだが、今後どのような検討・調整課題があり、どのように進めるのか。</p> <p>2 明石港東外港地区再開発の兵庫県との協議について</p> <p>(1) 兵庫県との協議の実績について (要旨) 兵庫県との協議について、令和4年2月以降に行った回数、担当者、協議の方法、具体的な協議内容について問う。</p> <p>(2) 明石市の目指す「一体的な整備」について (要旨) 明石市役所の新庁舎建設の際、来庁者駐車場は東外港地区との一体的な土地利用を見据えた暫定的な利用とされている。市はどのような一体的整備を目指しているのか、それはいつになるのか。</p> <p>(3) 東外港地区での市立施設設置について (要旨) 兵庫県は、東外港地区に明石市が施設の設置を検討するのであれば、その内容を踏まえ協議に応じるとしている。設置の考えはあるのか。</p> <p>3 中崎分署の移転について</p> <p>(1) 都市緑化への考え方について (要旨) 都市の貴重な緑地を減らすことをどう考えているのか。</p> <p>(2) 市民参画手続きについて (要旨) 中崎分署の移転及び中崎緑地の廃止について、市民参画の手続きは行われたのか、行わない場合は市民参画条例上の根拠を問う。</p> <p>(3) 中崎分署の移転先の再考について (要旨) 市役所西庁舎跡地への移転とすべきと考える。</p>		

発言順位	27	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p>1 高齢者の見守り施策の推進について</p> <p>(1) 一人暮らし高齢者の現状について (要旨) 本市では、一人暮らし高齢者世帯の実態調査・安全確保のため、ひとり暮らし台帳への登録制度がある。民生委員を中心に、登録制度の周知・啓発、実態調査を進めていると聞くが、本市における一人暮らしの現状と調査方法について尋ねたい。</p> <p>(2) 高齢者安否確認事業の現状について (要旨) 令和5年4月から、一人暮らし高齢者の見守り支援事業として安否確認事業が開始された。本事業は、一人暮らし高齢者の孤独死防止や早期発見などに効果的で大変重要な事業であると考ええる。現在の取組状況と今後の予定、啓発方法について尋ねたい。</p> <p>(3) 地域で安心して暮らせる見守り体制について (要旨) 高齢者が安心安全に日常生活が送れるよう、高齢者安否確認事業以外にも、社会全体で高齢者を見守る仕組みが必要であると考ええる。行政だけではなく、地域なども含め共助の観点での支援も重要である。必要性の高い日常の買い物支援など、今後の取組について尋ねたい。</p>		